



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月9日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 平和
コード番号 6412 URL <https://www.heiwanet.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 嶺井 勝也
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経営企画グループ (氏名) 小祝 隆 TEL 03-3839-0701
ゼネラルマネージャー
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年12月8日
四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	66,715	△5.9	12,171	△20.6	11,447	△24.4	7,436	△31.1
2023年3月期第2四半期	70,930	20.7	15,337	224.0	15,136	212.4	10,798	324.5

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 7,364百万円 (△30.0%) 2023年3月期第2四半期 10,521百万円 (296.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	75.40	—
2023年3月期第2四半期	109.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	421,196	234,422	55.7	2,376.85
2023年3月期	423,727	231,005	54.5	2,342.18

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 234,422百万円 2023年3月期 231,005百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2024年3月期	—	40.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	154,600	8.7	30,000	11.5	28,700	7.8	21,000	1.5	212.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

当社グループは、業績管理を年次で行っていることから、通期連結業績予想のみを開示しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	99,809,060株	2023年3月期	99,809,060株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,181,553株	2023年3月期	1,180,597株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	98,627,821株	2023年3月期2Q	98,630,924株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 当社は、2023年11月15日（水）に証券アナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、当四半期決算短信開示後速やかに当社ホームページに掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

遊技機業界におきましては、パチスロ機は6.5号機及びスマートパチスロの稼働が引き続き好調を維持しております。一方でパチンコ機は話題性のある機種が登場しているものの、稼働の全体的な伸び悩みが継続しており、市場の回復には至っておりません。

ゴルフ業界におきましては、5月、6月に雨が多かったこと、7月後半から始まった記録的猛暑によるマインドの低下、台風の影響等がありましたが、全体としてはゴルフプレー需要は順調に推移いたしました。

このような経営環境下、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高66,715百万円（前年同期比5.9%減）、営業利益12,171百万円（前年同期比20.6%減）、経常利益11,447百万円（前年同期比24.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益7,436百万円（前年同期比31.1%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(遊技機事業)

遊技機事業におきましては、パチンコ機は「ルパン三世 THE FIRST」、「バイオハザード RE:2」等を発売し、販売台数16千台（前年同期比22千台減）、パチスロ機は「主役は銭形4」、「戦国乙女4 戦乱に閃く炯眼の軍師」を発売し、販売台数24千台（前年同期比4千台増）となりました。

売上高及び利益面につきましては、パチスロ機の販売台数が増加したものの、パチンコ機の販売台数が減少したため、前年同期比で減収、減益となりました。

以上の結果、売上高17,043百万円（前年同期比27.3%減）、営業利益2,160百万円（前年同期比69.0%減）となりました。

(ゴルフ事業)

ゴルフ事業におきましては、夏の暑さ対策として好評の送風機付ゴルフカート「Cool Cart」、PGMサポートプロと一緒にプレーできる「withGolf」、ビジターのロッカー利用の選択制、フェアウェイカート乗入の有料化等の施策を実施し、競合他社との差別化と収益構造の改善を推し進めました。ゴルフ場のM&Aにつきましては、2023年7月に武庫ノ台ゴルフコースの株式譲渡契約を締結し、2023年10月2日より運営を開始いたしました。

売上高及び利益面につきましては、堅調なゴルフプレー需要と収益構造改善の施策の奏功、旺盛な需要を取り込んだ価格設定による顧客単価の上昇、前期に取得したゴルフ場が貢献したことにより、前年同期比で増収、増益となりました。

以上の結果、売上高49,672百万円（前年同期比4.6%増）、営業利益11,376百万円（前年同期比17.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

総資産は、前連結会計年度末に比べ2,531百万円減少し、421,196百万円となりました。受取手形及び売掛金が2,963百万円、原材料及び貯蔵品が2,562百万円増加する一方、現金及び預金が6,249百万円、有価証券（投資有価証券含む）が6,240百万円減少しております。

(負債の部)

負債は、前連結会計年度末に比べ5,947百万円減少し、186,774百万円となりました。電子記録債務が2,451百万円、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が1,134百万円、支払手形及び買掛金が849百万円、未払法人税等が643百万円減少しております。

(純資産の部)

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の組み入れにより利益剰余金が7,436百万円増加する一方、剰余金の配当により利益剰余金が3,945百万円減少したこと等により、前連結会計年度末より3,416百万円増加し、234,422百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の54.5%から55.7%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月12日に公表した連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,816	30,566
受取手形及び売掛金	7,421	10,385
電子記録債権	933	1,054
有価証券	30,900	25,800
商品及び製品	2,385	1,909
原材料及び貯蔵品	11,079	13,641
その他	7,345	9,587
貸倒引当金	△259	△281
流動資産合計	96,622	92,665
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	63,920	63,226
土地	216,523	216,566
その他（純額）	13,223	16,770
有形固定資産合計	293,667	296,563
無形固定資産		
のれん	5,622	5,439
その他	4,151	4,008
無形固定資産合計	9,774	9,448
投資その他の資産		
投資有価証券	10,834	9,693
その他	13,046	13,198
貸倒引当金	△217	△372
投資その他の資産合計	23,662	22,519
固定資産合計	327,105	328,531
資産合計	423,727	421,196
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,891	3,042
電子記録債務	8,150	5,699
1年内返済予定の長期借入金	31,419	27,948
未払法人税等	3,812	3,169
引当金	1,371	780
その他	20,813	19,790
流動負債合計	69,459	60,431
固定負債		
長期借入金	75,352	77,688
退職給付に係る負債	5,540	5,529
その他	42,369	43,124
固定負債合計	123,262	126,342
負債合計	192,721	186,774

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,755	16,755
資本剰余金	54,863	54,863
利益剰余金	159,717	163,208
自己株式	△1,354	△1,356
株主資本合計	229,982	233,471
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,166	1,075
退職給付に係る調整累計額	△142	△124
その他の包括利益累計額合計	1,023	951
純資産合計	231,005	234,422
負債純資産合計	423,727	421,196

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	70,930	66,715
売上原価	45,515	43,837
売上総利益	25,415	22,877
販売費及び一般管理費	10,077	10,705
営業利益	15,337	12,171
営業外収益		
受取利息	34	40
受取配当金	68	16
受取保険金	58	17
売電収入	86	76
固定資産売却益	112	0
その他	218	134
営業外収益合計	579	286
営業外費用		
支払利息	194	193
支払手数料	129	552
固定資産除却損	249	27
その他	206	236
営業外費用合計	779	1,010
経常利益	15,136	11,447
特別利益		
特別利益合計	—	—
特別損失		
特別損失合計	—	—
税金等調整前四半期純利益	15,136	11,447
法人税等	4,338	4,011
四半期純利益	10,798	7,436
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,798	7,436
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△284	△90
退職給付に係る調整額	7	18
その他の包括利益合計	△276	△72
四半期包括利益	10,521	7,364
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,521	7,364

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減したうえで、法定実効税率を乗じる方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 2
	遊技機事業	ゴルフ事業	計		
売上高					
一時点で移転される財	23,451	43,176	66,628	—	66,628
一定の期間にわたり移転される財	—	4,301	4,301	—	4,301
顧客との契約から生じる収益	23,451	47,478	70,930	—	70,930
外部顧客への売上高	23,451	47,478	70,930	—	70,930
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1	1	△1	—
計	23,451	47,479	70,931	△1	70,930
セグメント利益	6,957	9,720	16,677	△1,340	15,337

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,340百万円には、セグメント間取引消去3百万円及び配賦不能営業費用△1,343百万円が含まれております。配賦不能営業費用は、提出会社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 2
	遊技機事業	ゴルフ事業	計		
売上高					
一時点で移転される財	17,043	44,822	61,865	—	61,865
一定の期間にわたり移転される財	—	4,850	4,850	—	4,850
顧客との契約から生じる収益	17,043	49,672	66,715	—	66,715
外部顧客への売上高	17,043	49,672	66,715	—	66,715
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1	1	△1	—
計	17,043	49,674	66,717	△1	66,715
セグメント利益	2,160	11,376	13,536	△1,364	12,171

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,364百万円には、セグメント間取引消去2百万円及び配賦不能営業費用△1,367百万円が含まれております。配賦不能営業費用は、提出会社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。